

石神井公園ふるさと文化館

ふれあい土曜事業 毎週土曜日開催イベント

石神井公園ふるさと文化館では、毎週土曜日、いろいろなものづくりや体験ができる催しを行っています。申込は、当日先着順です。
①の定員を超えた場合は②の整理券を配ります。

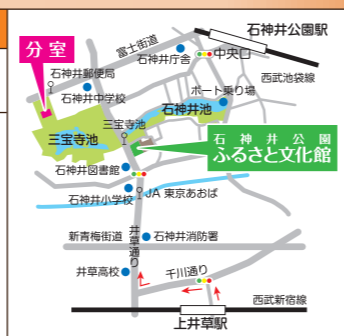
- 【特別展関連】 香りの葉を作ろう**
10月5日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回20名 参加費:100円
- いろいろ端で楽しむ紙しばい**
10月12日(土) ①13時~ ②14時~
定員:なし 参加費:無料
- くるくる回る秋の葉っぱモビール**
10月19日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回20名 参加費:100円
- 石神井公園ふるさと文化館を探検しよう**
10月26日(土)、11月23日(土・祝)、12月28日(土)
いずれも 13時~16時 定員:なし 参加費:無料
- タイムスリップ! 昔の衣装体験**
11月2日(土) 13時~15時
定員:なし 参加費:無料
- いろいろ端で聞く昔ばなし**
11月9日(土) ①13時~ ②14時~
定員:なし 参加費:無料
- 草木染めで巾着袋を作ろう**
11月16日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回15名 参加費:300円
- 冬の星座を楽しむプラネタリウム**
11月30日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回20名 参加費:200円
- かわいいネズミの干支カレンダー作り**
12月7日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回20名 参加費:50円
- わら縄で作る ミニしめ飾り**
12月14日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回20名 参加費:300円
- 竹と松で作るミニ門松飾り**
12月21日(土) ①13時~ ②14時~
定員:各回20名 参加費:300円

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内 (令和元年9月現在)

開館時間 9時~18時(会議室の利用は、9時~21時30分) 入館無料 ※特別展は有料
休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日

	石神井公園ふるさと文化館	徒歩10分	分室
最寄駅	●西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分 ●西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分	●西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分	
バス	●西武バス 「JA東京あおば」下車 徒歩5分 荻14 (石神井公園駅南口~上井草駅~荻窪駅) ●みどりバス「JA東京あおば」下車 徒歩5分 関町ルート (関町福祉園~武蔵関駅南口~上石神井駅~練馬高野台駅~順天堂練馬病院) ●西武バス「三寶寺池」下車 徒歩2分 荻15 (長久保~大泉学園駅南口~上井草駅~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)	●西武バス 「石神井郵便局」下車 徒歩1分 吉60 (成増町~石神井公園駅北口~上石神井駅~吉祥寺駅) 荻15 (長久保~大泉学園駅南口~上井草駅~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)	



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.34 令和元年9月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(指定管理者:公益財団法人練馬区文化振興協会)
ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>
石神井公園ふるさと文化館 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16 TEL 03-3996-4060 FAX 03-3996-4061
石神井公園ふるさと文化館分室 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44 TEL 03-5372-2572 FAX 050-3352-2983

石神井公園ふるさと文化館展覧会

特別展「病退散—江戸の知恵と医術—」 9月14日(土)~11月4日(月・休)
※特別展関連イベントの詳細につきましては、2ページをご覧ください。
特別展「江戸のマンガ〜浮世絵・黄表紙・戯画本の世界〜(仮題)」
1月25日(土)~3月15日(日) ※展覧会の詳細につきましては、次号でご紹介します。

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。(要事前申込制)

- 「俳句と生きる—名句鑑賞と句会—」 11月10日(日) 13時30分~16時40分
講師:今村たかし(練馬区俳句連盟会長) 参加費:無料 定員:60名
- 「石神井公園に見る水辺の鳥、山野の鳥」 12月15日(日) 14時00分~15時30分
講師:茂木 勲(石神井公園野鳥と自然の会会長) 参加費:無料 定員:90名

ギャラリー展

石神井公園野鳥と自然の会 ふるさと文化講座関連展示
「石神井公園 野鳥たちの四季」 12月13日(金)~1月30日(木) ヤマガラ

東京文化財ウィーク

石神井城跡発掘パネル展 会場:都立石神井公園内石神井城跡
10月26日(土)~11月4日(月・休) 9時30分~16時30分

ふるさと文化館で歌う会

石神井公園ふるさと文化館で、懐かしいふるさとの歌などを歌います。

- 「ふるさと文化館で歌う会・秋」 10月17日(木)、18日(金) 13時30分~15時
- 「ふるさと文化館で歌う会・冬」 12月25日(水)、26日(木) 13時30分~15時
定員:各回50名 参加費:無料 申込:当日先着順

やさしい詩の朗読

12月8日(日) 13時30分~14時 / 12月10日(火) 15時30分~16時
定員:なし 参加費:無料 申込:不要

周辺散策事業

都立石神井公園内 石神井城址「歴史ガイドツアー」
12月8日(日) 10時~12時30分 定員:20名 参加費:50円 申込:事前申込制

季節体験事業

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

- 十三夜飾り 10月10日(木)~10月14日(月・祝)
- 正月飾り 12月28日(土)~1月5日(日)

練馬区域でよく使われていた農機具の実演と体験を行います。
農機具実演・体験 11月17日(日) 14時~15時30分 定員:なし 参加費:無料

分室

特集展示「檀一雄の俳句の世界」
10月5日(土)~12月22日(日) 9時~18時 参加費:無料 申込:不要

五味康祐遺品のオーディオ装置によるレコードコンサート
10月26日(土)、11月23日(土・祝)、12月28日(土)
①:13時30分~15時 ②:15時30分~17時 対象:中学生以上 定員:各回20名
参加費:各回300円~500円(解説員により異なる) 申込:事前申込制

その他のイベント

- ①武蔵野音楽大学との連携によるサロンコンサート
10月13日(日) 12時~13時 定員:100名 参加費:なし 申込:不要
- ②絵本とあそぶ会 11月24日(日) 14時~15時 読み手:練馬区立南田図書館司書
対象:幼児~小学生 定員:30名 参加費:無料 申込:当日先着順

特別展

やまい 病退散

世の中万病りやうぢ所
江戸時代末期
順天堂大学・日本医学教育歴史館/蔵

—江戸の知恵と医術—



瘡瘡請負軽口ばなし
享和3(1803)年
十返舎一九/作 東京大学総合図書館/蔵



房事養生鑑
安政年間(1854~1860)頃
歌川国貞/画 たばこ塩の博物館/蔵

令和元(2019)年
9月14日(土)▶11月4日(月・休)

特別展

「病退散—江戸の知恵と医術—」

- 会 期: 9月14日(土)～11月4日(月・休)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室
- 観覧料: 一般 300(200)円 高校生・大学生 200(100)円
65～74歳の方 150円
中学生以下と75歳以上の方 無料

*身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は一般150円/高校生・大学生100円
*練馬区立美術館との相互割引あり。()内は20名以上の団体料金

医学が進歩し、多くの病が治療できるようになった現在においても、人々は健康の尊さを再認識し、健康に生きるために模索しています。その証拠に、体にいい食生活を取り上げたテレビ番組や雑誌の特集が頻りに話題にもなります。その大もとをたどると、中国から伝わった漢方の知識や江戸時代より人々に受け継がれてきた生活の知恵や工夫に行きつくことが多くあります。

本展では、江戸時代における医術の発展を追うとともに、当時の人々の養生の考え方や病への対処について紹介します。



飲食養生鑑
安政年間(1854～1860)頃
歌川国貞/画 たばこと塩の博物館/蔵

関連イベント

1 講演会「江戸の知恵に学ぶ食養生 —薬膳から見た食生活と健康—」

講 師: 武 鈴子(東京薬膳研究所代表・食養生研究家)
日 時: 10月14日(月・祝)14:00～15:30 定 員: 90名(先着順) 参加費: 無料
会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申 込: 9月1日(日)より電話にて

2 講演会「漢方医学のルーツと大切な考え方」

講 師: 小曾戸 洋(北里大学客員教授)
日 時: 10月27日(日)14:00～15:30 定 員: 90名(先着順) 参加費: 無料
会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申 込: 9月1日(日)より電話にて

3 講演会「病とむきあう江戸時代 —幕府・藩・庶民と医薬の関わりについて—」

講 師: 岩下 哲典(東洋大学文学部史学科長・教授)
日 時: 11月3日(日・祝)14:00～16:00 定 員: 90名(先着順) 参加費: 無料
会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申 込: 10月1日(火)より電話にて

1・2・3 申込先電話番号 03-3996-4060

*このほか、展示解説会などを開催します。詳しくは、本展チラシ、当館ホームページ、区報をご覧ください。

関連展示

ギャラリーパネル展 「本草学者 小野蘭山の足跡」

江戸時代の本草学(薬の研究)を大成した小野蘭山の足跡を紹介します。

東京文化財ウィーク(石神井城跡発掘パネル展)

- 会 期: 10月26日(土)～11月4日(月・休)
9:30～16:30
- 会 場: 都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)
- 観覧料: 無料

石神井城跡(中世豊島氏の城跡、東京都指定史跡)の発掘調査の様子や成果などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。



石神井城跡発掘パネル展

ふるさと文化館ランタンまつり

射的や釣りゲーム、駄菓子やポップコーンなどの販売を行います。

- 日にち: 9月21日(土)
- 時 間: 16:00～19:00 ※ランタンライトアップ19:00頃～19:30
- 定 員: なし(販売物がなくなり次第終了となります)
- 参加費: 30円～(当日、ミュージアムショップでチケットをお買い求めください)
- 申 込: 不要。どなたでもご参加いただけます。

同日開催! <野菜モチーフのランタンを作って灯そう!>

「世界都市農業サミット」を記念して、野菜をモチーフにしたランタン作りのワークショップを行います。

- 時 間: 16:50～19:30 ● 定 員: 60名(抽選)
- 参加費: 一人300円 ● 対 象: 小学生(保護者同伴必須)
- 持ち物: 軽食(終了が19:30になるため必要な方はお持ちください)
- 申 込: 電子メール(event-furusato@neribun.or.jp)または往復はがき(練馬区石神井町5-12-16)にて

①講座名②参加者(2名まで)と保護者の氏名(ふりがな)③学年④住所⑤電話番号を記入の上、9月10日必着でお送りください。

※ランタン作りワークショップ・まつりともに荒天の場合、翌日22日に順延予定



分室特集展示「檀一雄の俳句の世界」

観覧無料

- 会 期: 10月5日(土)～12月22日(日)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館分室 1階
「練馬区ゆかりの文化人」展示室
- 観覧料: 無料

練馬区ゆかりの直木賞作家、檀一雄(明治45(1912)年～昭和51(1976)年)は、「リッツ・その愛」「リッツ・その死」「火宅の人」などの小説で著名である一方で、俳句や短歌などの作品も数多く遺しました。

展示では、こうした檀一雄の俳句作品を収蔵する色紙やパネルなどで紹介し、檀一雄の文学を貫く詩心や小説とのつながりを探ります。



俳句色紙「落日を拾ひに行かむ海の果て」

コミちゃんの帽子(分室常設展示資料紹介)

丸い頭にちょこんとのった毛糸の帽子。「コミちゃん」と田中小実昌という名前を聞くと誰もが思い浮かべる姿ではないでしょうか。トレードマークである帽子は愛娘による手編みのものもあり、季節を問わず愛用されていました。少し斜めにのせられた帽子、印象的でチャーミングなお顔は何冊もの著書の表紙にもなり、「帽子をお譲りいただけませんか」と嘆願するファンからの手紙も残っているほどです。帽子は小さく浅めで、「かぶっている」というより「のせている」という表現の方がぴったり。当館に寄託されている2つの帽子からは、帽子とともに生き、帽子とともに愛されたコミちゃんのぬくもりが伝わります。



「コミさんの二日酔いノート」
(PHP研究所 1981年)

サポーター コラム 「サポーターになって…」

ふるさと文化館には、案内やイベントのお手伝いをするサポーター(ボランティア)が活動しています。今回は、サポーターの岡島 宏さんのコラムをご紹介します。

練馬のことは大根の認識しかなく、サポーターになって初めて、多くのことを知りました。興味深かったのは、太古の昔は近くまで海が迫り、水が豊富な台地は古代人が住むに適していたようで、三万年も前の遺跡が出土しているということ。さらに板橋区の一部だった経緯も理解に至り、練馬区誕生のいきさつを知ることができました。

来館される方々は、子どもから専門家まで幅広く、子どもたちと一緒に遊んだり、若い人たちには教えながらも元気をもらい、年配の方には貴重な昔話を教わり、自分自身も楽しみながら案内しています。何より嬉しい瞬間は、「また来たいね。」と言って帰っていただいた時ですね。